

令和2年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

# 教育課程部会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所 / 後援 日本私立中学高等学校連合会

## ◆研究のねらい◆

## これからの授業デザインとICT活用を考える ～<探究> <教科横断>の視点を踏まえて～

新型コロナウイルス感染拡大による休校時の対策として、学校におけるICT環境整備の充実が急務となり、国は「GIGAスクール構想」を前倒して、1人1台端末環境の整備の早期実現を目指している。

さらに、令和4年度からは、高等学校では新学習指導要領が実施され、これからのカリキュラム・マネジメントの軸となる「理数探究」や「総合的な探究の時間」など教科横断的な科目が置かれる。

コロナ禍でオンライン授業をいち早く導入した私立学校も多く、今後はオンライン授業のメリットやデメリットを踏まえ、通常の対面式授業との効果的な併用を模索していくことも欠かせない。また、ICT環境整備に加え、「探究」授業の取組みも喫緊の課題といえよう。

当部会では、ポストコロナ時代の授業や新学習指導要領を見据えて、子どもたちが創造的問題解決能力を育むために、ICTやデジタルツールを効果的に活用し、授業やPBLの実践・研究に取り組まれている神田外語大学言語メディア教育研究センター（LMLRC）の石井雅章センター長・准教授による講演を行う。

今回は会場となる聖光学院中学高等学校の全面的な協力により、休校時の対応についての実践発表、「探究」授業やICTを活用した授業の視察、同校の先生方を交えての参加者による意見交換を通して、先進的な「探究」授業の取組み、教科の枠を超えた授業デザイン、さらには、これからの授業のあり方について考察していく。

会 期

令和3年2月19日（金）

会 場

聖光学院中学高等学校

神奈川県横浜市中区滝之上100番地（JR根岸線「山手」駅より徒歩8分）

募集人員

120名

参加対象

理事長・校長・教頭・教務主任及び教育課程編成等担当教員  
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費

18,000円（昼食費を含む）

日 程

※プログラムは変更になる場合があります。

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		30		30	30	20		30	40	
令和3年 2月19日 (金)	受 付	開 会 式	講 演	昼 食	学校紹介 ・ 実践発表	授 業 視 察 ・ 施 設 見 学		分 散 会	閉 会 式	

## 研修内容

### ◆ 講演 ◆

演 題 ICT を効果的に活用した探究型授業のデザイン

講 師 石井 雅章 神田外語大学言語メディア教育研究センター (LMLRC) センター長・准教授



【プロフィール】博士 (学術)。2006 年城西大学現代政策学部専任講師、2010 年同准教授、2014 年神田外語大学メディア教育センター准教授、2017 年より現職。専門は環境社会学。主な研究テーマは持続可能な社会システムで、主な著書・論文に『環境事典』(「企業と環境」分野 100 語担当) (2008 年、旬報社)、「PBL の時間的変容とステイクホルダーの関係性の変容に関する可視化と考察」『地方自治研究』(2019 年)、「システムから捉える SDGs の「自分ごと化」のフェーズ」『共生科学』(2020 年) 等。城西大学在職中の 2008 年から、大学周辺の休耕地を地域資源として活用するしくみづくりを目的とした「休耕地活用プロジェクト」に取り組み、経済産業省「社会人基礎力を育成する授業 30 選」(2014 年 3 月) に採択される。現職では、PBL の実践・研究とともに、ICT やデータを活用した授業デザインや学習環境構築に取り組み、2020 年度は大学全体のフル・オンデマンド授業化プロジェクト「Innovation KUIS」を統括している。分野や立場が異なる研究者・自治体職員・NGO/NPO スタッフ等で構成する越境的実践研究集団「未来の学びと持続可能な開発・発展研究会 (みがく SD 研)」では、市民や自治体、企業向けに様々な SDGs ワークショップを開発・実践し、SDGs の「自分ごと化」のための活動に取り組んでいる。環境省「持続可能な開発目標 (SDGs) を活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」関東ブロック・アドバイザー委員、埼玉県鶴ヶ島市まちづくり審議会会長、日本アクティブ・ラーニング学会理事等。

### ◆ 学校視察 ◆

#### 聖光学院中学高等学校

全体会	視察校代表挨拶	工藤 誠一	聖光学院中学高等学校	理事長・校長
	学校紹介	安宅 克己	聖光学院中学高等学校	教頭
	実践発表	名塩 隆史	聖光学院中学高等学校	教諭

授業視察・施設見学

### ◆ 分散会 ◆

テーマ <探究><教科横断>の視点から授業デザインと ICT 活用を考える

★15 名程度のグループに分かれて研究協議・情報交換を行います。

## 視察校紹介

#### 聖光学院中学高等学校 (理事長・校長 工藤 誠一)

設立母体は 1819 年にフランスで創設されたキリスト教教育修士会。昭和 33 年 4 月に聖光学院中学校が、昭和 36 年 4 月に聖光学院高等学校が創立された。建学の精神は、『カトリック的世界観にのっとり、人類普遍の価値を尊重する人格の形成、あわせて、高尚、かつ、有能なる社会の成員を育成する』にある。

2017 年度から「科学・技術で新しい時代を切り拓くリーダーを育む中高一貫プログラム」をテーマに 5 年間 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) に指定されている。また外部からの特別講師も招きアカデミックな内容を盛り込んだ「聖光塾」や、選択芸術講座など特色ある教育を行っている。



●JR 根岸線「山手」駅より徒歩 8 分  
※聖光学院中学高等学校ホームページより  
(<http://www.seiko.ac.jp/>)



# プログラム

〈会場〉 聖光学院中学高等学校

09:00-09:30	◇受付◇
09:30-10:00	◇開会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長 3. 視察校代表挨拶 工藤 誠一 聖光学院中学高等学校 理事長・校長 4. 役員・専門委員紹介 5. 研修会運営方針説明 森 涼 教育課程専門委員長 6. 日程説明 7. 閉式
10:00-11:30	◇講演◇ 司会 教育課程専門委員 講師紹介・謝辞 平方 邦行 一般財団法人日本私学教育研究所 副理事長 演題 「ICT を効果的に活用した探究型授業のデザイン」 講師 石井 雅章 神田外語大学言語メディア教育研究センター (LMLRC) センター長・准教授
11:30-12:30	◇昼食◇ 昼食をご用意しております。
12:30-13:30	◇学校視察◇ 司会 聖光学院中学高等学校 教諭 (12:30-12:45) ○学校紹介 安宅 克己 聖光学院中学高等学校 教頭 (12:45-13:15) ○実践発表 名塩 隆史 聖光学院中学高等学校 教諭 (13:20-15:10) ○授業視察 中学1年生から高校2年生までの第5校時・第6校時の授業を視察します。 (15:10-15:30) ○施設見学
15:30-16:30	◇分散会◇ 司会・進行 教育課程専門委員 テーマ 「〈探求〉〈教科横断〉の視点から授業デザインと ICT 活用を考える」 教育課程専門委員が司会を務め、15名程度のグループに分かれて、視察校の先生を交えて、参加各校の現状や課題等について意見交換を行います。
16:40-17:00	◇閉会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 開式 2. 総括 森 涼 教育課程専門委員長 3. 閉会挨拶 中川 武夫 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長

※プログラム・内容は変更となる場合があります。

## ◆講師・指導員（順不同）◆

石井雅章	神田外語大学言語メディア教育研究センター（LMLRC）	センター長・准教授
工藤誠一	聖光学院中学高等学校	理事長・校長
安宅克己	聖光学院中学高等学校	教頭
名塩隆史	聖光学院中学高等学校	教諭
吉田晋	富士見丘中学高等学校	理事長・校長
平方邦行	工学院大学附属中学高等学校	校長
中川武夫	蒲田女子高等学校	顧問

## ◆専門委員・指導員（順不同）◆

森涼	学校法人石川高等学校・石川義塾中学校	理事長・校長
松谷茂	文化学園大学杉並中学高等学校	校長
鈴木弘	香蘭女学校中等科高等科	校長
北村聡	京都外大西高等学校	理事・校長
須藤勉	東京私学教育研究所	所長
川本芳久	一般財団法人日本私学教育研究所	理事・事務局長

## ◆参加者へのお願い◆

○当研修会において主催者記録係以外による録画・録音を禁止しております。また、講師・発表者の許可無く写真・内容等をHP・ブログや各種SNS等へ掲載することにつきましても禁止しております。ご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。また、今後、当研修会の広報活動等で主催者記録係が撮影した写真を使用させて頂く場合がございます。会場内の様子を撮影する関係上、参加者が映り込む可能性がございますので、予めご了承下さい。

○視察校での写真撮影について、生徒個人が特定できる顔写真等の撮影は禁止とします。撮影した写真は学校内の研修や報告等に活用する場合に限り使用を許可しますが、学校のホームページや紀要・報告書等への掲載、参加者個人のSNSやインターネットのサイトへのアップロードは禁止とします。また撮影写真の使用後は速やかに破棄頂きますようお願いいたします。また、動画（ビデオ撮影等）についてはすべて禁止とします。

○会場へお越しの際は、公共交通機関をご利用下さい。（車での来校はご遠慮下さい。）

### 令和元年度研修会の様子



### ◆参加申込み方法◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。お電話での申込みは受け付けません。

申込み先 一般財団法人日本私学教育研究所 一般研修会担当宛  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階  
TEL : 03-3222-1621 FAX : 03-3222-1683 HP : <http://www.shigaku.or.jp/>

2. 申込みは先着順に受け付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切りとなる場合があります。申込みを締め切った場合は当研究所ホームページでお知らせ致します。
3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送り致します。  
参加費は「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）払込用紙」で、指定されたコンビニエンスストアで下記振込み期限までにお振り込み下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

申込み締切日・キャンセル期限:令和3年2月5日(金) 必着

参加費振込み期限:令和3年2月10日(水) 必着

### ◆注意事項◆

<参加申込みについて>

申込み後、2週間以内に「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」が届かない場合は電話にてご連絡下さい。

<変更・キャンセル・欠席について>

必ず FAX にて日本私学教育研究所へご連絡下さい。

キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」を FAX にて返信致します。

変更の場合は、「参加確認証（再発行）」を郵送致します。上記書類が届かない場合は、必ず電話にてご確認下さい。

参加費の返金・キャンセル料は下記の取り扱いと致します。

2月12日(金)迄のご連絡	2月13日(土)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金致します。	参加費の返金はできません。 研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料をして全額(18,000 円)を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

### ◆新型コロナウイルス感染症について◆

○受付時の参加者の検温及び手指の消毒、会場・備品の消毒・換気、座席の間隔を広げ人と人との距離をとるなど「3つの密」の回避に努めます。

○講師並びに運営関係者・スタッフはマスク（場合によってはフェイスシールド）を着用します。

○参加者にはマスクの着用をお願いします。また、学校視察、分散会中は必要に応じて参加者にもフェイスシールドを用意します。

○当日 37.5 度以上の熱のある方、体調のすぐれない方などは参加をお断りする場合があります。その際は研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費の返金・キャンセル料の取扱については、上述の通りです。

○今後の感染拡大状況によっては、研修会の延期または中止、会期の短縮、講師等の変更、参加者交流プログラム等の内容変更、受入れ人数の調整など見直しを行う場合があります。

○新型コロナウイルス感染が疑われる研修会参加者・関係者が発生した場合は、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行います。

新型コロナウイルス感染症への対策・対応等は随時更新しますので、当研究所ホームページをご覧ください。

### ◆個人情報の取扱いについて◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用致します。

### ◆傷害保険について◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入致しませんのでご承知置き下さい。

誤送信が増えています。FAX送信前に番号をご確認下さい。

一般財団法人日本私学教育研究所 行

申込締切日：令和3年2月5日（金）必着

FAX 番号 **03-3222-1683**

令和2年度 全国私立中学高等学校  
私立学校専門研修会・教育課程部会  
参加申込書

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

参加者氏名	(ふりがな) _____	男	職名	
		女	担当科	
学校名			校務分掌	
学校住所	〒 TEL ( ) FAX ( )			
※参加確認証を上記の参加者ご本人、または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先及び受取人氏名をご記入下さい。				
参加者連絡先	携帯電話番号： ★緊急の場合、確実に連絡がとれる携帯電話番号をご記入下さい。			
メールアドレス				
アンケート				
◎講師・視察校への質問事項等、分散会での希望テーマをご記入下さい。時間の都合上、質問への回答、希望テーマの協議ができない場合もございます。ご了承下さい。 講師への質問				
視察校への質問				
分散会の希望テーマ				
通信欄				

※郵送、FAXでお申し込み下さい。

受付No.

※今後の研修会のご案内等をメール配信する場合もございます。

2名以上の申込みの場合は本申込書をコピーしてお申し込み下さい。